

国立研究開発法人国立がん研究センター理事会（令和元年度第2回）議事概要

日 時：令和元年5月31日（金）10：00～11：30

場 所：国立がん研究センター 管理棟 第1会議室

出席者：中釜斉理事長、南砂理事、松本洋一郎理事、間野博行理事、小野高史監事、増田正志監事

欠席者：北川雄光理事、児玉安司理事

I. 前回（平成31年度第1回）議事録の確認

- ・前回議事録について了承。
- ・議事録署名人を松本理事と小野監事に依頼。

II. 審議事項

1. 令和2年度投資計画、財投要求等

資料に沿って説明され、審議された。

【主な意見等】

- ・医師のQOLはどのように考えているのか。また、全体から見た時に投資がどのように回っていくのか、ヘルステクノロジーアセスメントを考えていく必要があるのではないか。
- ・センターとしては職員・医師の働き方改革の取り組みを始めているところである。QOLのご指摘は重要であり、継続して検討していきたい。
- ・ナースコールシステムなど投資を我慢することは事故につながるリスクがあるのではないか。
- ・老朽化したものについては、センター内で洗い出し、優先順位をつけながら対応していきたい。

III. 報告事項

1. がん遺伝子パネルの検査の保険適用

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・国の宝となるデータセットなので利活用して頂きたい。データを最新の手法でC-CATが解析し、C-CATクラウドに膨大なデータを蓄積し、企業であれば有償で、中核拠点・連携病院等であれば無償で利用でき、解析結果をダウンロードできる。産業界にも是非使っていただきたい。

2. 家族のたばこについての国民意識アンケート調査報告書

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・調査結果により世界禁煙デーを盛り上げていただければと思う。

3. 知財・産学連携活動の状況

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・基礎研究を行う資金として運営費交付金がしっかりと担保されていなければこのような研究もできないので継続的に発信していくことが重要である。

4. 政府の会議の状況

資料に沿って報告された。

5. 広報実績等

資料に沿って報告された。

6. 投資委員会報告

資料に沿って報告された。

7. 4月分月次決算等

資料に沿って報告された。